

氏名	平井悠
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5090 号
学位授与の日付	平成 27 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科機能再生・再建科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Expression of toll-like receptors in chronic otitis media and cholesteatoma (慢性中耳炎と真珠腫性中耳炎における toll-like receptor の発現に関する検討)
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

論文審査委員	教授 豊岡伸一 教授 木浦勝行 准教授 山田浩司
--------	--------------------------

学位論文内容の要旨

中耳炎は特に子供によくみられる一般的な感染症であるが、その発症や悪化には様々な要素が影響しているといわれている。Toll 様受容体 (TLR) は免疫機構に関連しており、感染症における病原体のクリアランスや炎症性疾患の治療に関連する重要な要素であるとされている。中でも、TLR-2 は多くの病原体に関連する分子パターン (PAMPs) を認識し、TLR-4 は中耳炎の主要な病原体であるグラム陰性菌のリポ多糖 (LPS) を認識するものである。我々が渉猟した範囲では、ヒトの慢性中耳炎および真珠腫性中耳炎において TLR-2 と TLR-4 の発現を正常組織と比較検討した報告はない。この度の研究の目的は、これら TLR-2 と TLR-4 が慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎において組織学的にどのように発現しているかを、正常中耳組織と対比して評価することである。

慢性中耳炎 7 例、真珠腫性中耳炎 5 例、炎症のない正常コントロール 7 例の合計 19 例の中耳粘膜を用いて、免疫染色により TLR-2 および TLR-4 を検出した。コントロール群から得た中耳サンプルでは、TLR-2 と TLR-4 ともほとんど発現していなかったのに対し、慢性中耳炎と真珠腫性中耳炎では両方とも著明に発現していた。この結果より TLR がヒトの慢性中耳炎および真珠腫性中耳炎において重要な役割を担っていることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は慢性中耳炎ならびに真珠腫性中耳炎における Toll 様受容体 (TLR)、なかでも TLR-2 ならびに TLR-4 の発現を正常中皮粘膜と比較したものである。中耳炎発症における TLR 発現の役割について重要な知見を得たものとして価値のある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。